



西栗倉幼稚園だより

大きいスイカが
実りました。

2学期が始まり、幼稚園には子ども達の元気な声が帰って来ました。

始業式に子ども達は大きなスイカをみてびっくりでした。幼稚園にこんな大きなスイカが、しかも4個も実りました。5月の連休明けに植えたスイカ。成長の観察をする。みんな育てる。という目標で子ども達が毎日水やりをして育てたスイカです。「赤くなつとるがな」「どうどうなつとるがな?」「わあ、赤い」と言いながらみんな分けておいしく頂きました。職員もこんなに大きくなると思ってもいませんでした。来年もチャレンジして育てて見ようと思っています。



楽しかった交流会
東栗倉幼稚園との交流会、昨年より年間に5回程度の交流の日を決めてお互いの幼稚園でお楽しみ会をしています。先日9月27日、東栗倉幼稚園で交流を行いました。お互いに運動会でした踊りを見せ合ったり、ももっち体操、かけっこをしたり、年齢別で競技をしたら、とたのしい一日を過ごしました。幼稚園の運動会、村の運動会とは違った楽しさがありました。何回か交流すること、友だちの名前を親しく遊んだり、また会つことを約束して別れました。東栗倉幼稚園の皆さんありがとうございました。

大原高校だより

Ohara high school Forever in our heart

11月3日(木)、井原市で高校女子駅伝岡山県予選会が開催される。距離は、ハーフマラソンに相当する21km余り。

1区(6km)・2区(4km余)・3区(3km)・4区(3km)・5区(5km)の5区間で競われる。12月の中旬に京都の都大路で開催される全国大会の県予選。今年は、インターハイ1位の新谷選手を有する興譲館高校の全国優勝も期待されている。

大原高校女子生徒は、3年生9名。生徒達全員の前で相談の結果。一大決心。「高校女子駅伝に出場しよう。」

陸上部もおらず、陸上競技の大会にも出場したことがない女子生徒9名。選手は上記のように5名もいる。その上、最長距離は6km。完走できるのか。タスキを継ぐことは可能か。みんな悩んで悩んでいました。走ることに苦手な生徒もいる。特に、長距離は大嫌いの生徒も多い。しんどい。

しかし、大原高校最後の3年生。何か、お世話になった地域の方々に、同窓の先輩方に感謝の気持ちを表したい。苦しくて、大変だが、できる範囲で女子全員で練習し、選手となった5名を、リザーブの4名が必死で応援しなんとか出場してみることにした。

「Ohara high school Forever in our heart」を刻んだタスキを、みんなで一致団結してゴー

ルまで運ぼう。恐らく初めての高校女子駅伝県予選会出場。当然最後の参加。みんなの思い作りと、大原高校が元気なすばらしい高校であった証を残そう。

春から、1人黙々と走っていた生徒。夏休みからは、バレーの生徒も自主的にランニングに参加。2周しか走れない生徒もいる。しかし、徐々に力を付けつつある。8月30日に、試走。大原高校を出発して21kmをリレー。旧作東町のローソンまでになった。自信となった。元気な生徒達。Ohara high school Forever in our heartを合言葉に、自覚を持って高校生活をエンジョイしてくれている。生徒数が少なくなり心配をしていたが、杞憂となってくれそうです。

—11月以降の閉校行事日程—

- ・11月3日(木)
高校女子駅伝岡山県予選会(井原市)
- ・11月12日(土)・13日(日)
閉校記念文化祭(高翔祭)
(大原高校開放dayです、是非ご来校ください)
- ・3月4日(土) 閉校記念式典

(副校長 上原正之 9月21日記)